

令和3年度10月定例教育委員会議事録

【日時】

令和3年10月20日（水）

開会 午後13時20分

閉会 午後14時35分

【会場】

町民会館103学習室

【出席者】

9名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	根橋 久人
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

こども課長	小澤 靖一
生涯学習課長	西原 功
こども課長補佐	
兼学校教育係長	桑原 さゆり
学校教育係	向山 倅生

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

なし

2 協議

- (1) 【非公開】 学校・保育園の様子及び運営上の諸課題
- (2) 【非公開】 川島小学校の今後のあり方についての協議
- (3) 令和3年度上伊那社会教育関係者懇談会について

3 報告事項

- (1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

○開会

1 開会の言葉

<宮澤教育長>

ただいまから 10 月の定例教育委員会を開催させていただきます。

2 会期の決定

<宮澤教育長>

本日限りとしたいがよろしいでしょうか。

・異議なし

3 議事録の承認

<宮澤教育長>

9 月の定例教育委員会の議事録についてご異議はありませんか。

異議なしと認め、後ほど署名をお願いします。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。

10 月も半ば、比較的温かに推移していた気温も、先週あたりから一気に下がり、なかなか体がついていくことができません。お互いに体には十分気を付けていきたいと思えますし、決して無理しないようお願いします。

さて、新型コロナウイルスですが、9 月以降、急激に感染者が減少してきており、このまま終息するのではという期待もあります。しかし、なぜ急激な減少が起こっているのかは、専門家も理解し難いとしており、油断はできません。学校や保育園、各施設では引き続き感染予防策を講じてまいります。

川島小学校は、昨日と今日の二日間、5、6 年生が体験学習として南信州に出掛けていますし、辰中では今日 1 日、総合の日であり、1 年生は八ヶ岳自然大学校に出掛け、2 年生は学級ごとに辰野町再発見などの体験学習を、3 年生も進路講話やスポーツイベント等の学習を行っています。今月から 12 月にかけて、小学校の修学旅行や臨海学習、社会見学などの大きな行事が計画されています。皆、児童生徒にとって、良い学びの場となればと期待しています。

さて、今日の教育委員会ですが、開催通知には議事として「教育長職務代理の指名」と「議席の決定」が入っておりましたが、改正されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、同法律第 13 条 2 項に基づき、「教育長職務代理者は、教育長が指名する」となっております。昨年度は、教育長が再任された関係で、新たに任命された教育長のもとで職務代理者を指名させていただきました。同法律では、「教育長が別の代理者を指名するまで」、または「新しい教育長が任命された後、職務代

理者を指名するまで」が現職務代理者の任期となっていますので、今年度は、教育長職務代理者の指名と議席の決定は行いませんが、ご了承ください。

協議では、過日開催されました川島小学校の保護者との懇談会に参加されての感想などから、今後のあり方を協議できればと考えていますので、よろしくお願いします。

小・中学校の来年度の教育課程構想につきましては、次回に回させていただきます。それでは、よろしくお願いします。

5 議事

なし

6 協議

(1) 【非公開】学校・保育園の様子及び運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。

(2) 【非公開】川島小学校の今後のあり方についての協議

・資料として、10月14日(木)に川島小学校児童保護者・未就学児保護者の代表者が提出した要望書の写しを提示。

<宮澤教育長>

- ・Aさんが町長と懇談、自分の思いと我が子の特性について話した、とのこと。

<B委員>

・新聞に、「町長に要望書提出」の記事が載った。まだ同じようなことをやっているのかという話も聞く。早く町長は決断すべき。

<宮澤教育長>

・今回の要望書と署名を見た。署名は川島区以外の方の名前が多い。この懇談時、学校は縦のつながりは大事だが、横のつながり・同級生も必要との話をさせていただいた。本を読んだとき、感じ方が皆違う。互いに感じ方を共有することで深い学びができる。

・川島小学校を参観した。1、2年の教室では、2年4人が前を向き、1年一人が後ろを向き、壁に向かって勉強をしていた。この強烈な光景を保護者は見ているのかと思った。

<C委員>

・川島小学校は、常に自分の意見を言わざるを得ない状況であり、育つと思う。しかし、他人の意見を聞く、折り合いをつける、譲る力も今求められている。

<D委員>

・子どもは、いろいろな意見の中で自分が折れる経験をし、悔しかったことも学ぶ。友達がいなくて自分の意見がどんどん通って行ってしまう状況が良いとは限らない。

たくさんの意見の中でどうするか考える機会がないことはどうなのか。

<E委員>

・小学校ではマラソン大会に向け練習中。音楽会もマラソンも楽しいことばかりではない。うちの子はマラソンが苦手。でも苦手な友達同士約束して走り、乗り越えようとしている。辛いことや苦手なことも友達がいるから乗り越えられる。同級生がいなことは辛いことである。

<F委員>

・教室の俳句を見た。塾の友達がいって楽しいと書いてあった。個々を見ていくと本当に個であり、横のつながりが無い。本人だけが抱えていて家でも話さないだろう。

<G委員>

・1年生が一人で図形をやっていた。そこに2人か3人がいたら発展していくと思う。この光景を親御さんは何も感じないだろうか。西小に通わせている保護者は、そこを感じてそうしていると思う。

<宮澤教育長>

・複式は先生が一人、一方の学年に行けば、当然他の学年は留守になる。しかし、両学年複数の友達がいれば深い学びができるが、それが今ない。少人数で議論する、グループで議論することが全くない。

<H委員>

・川島区のためにはあった方が良さそうだが、子どものためを考えると今の状況で良いかという疑問を持っている。少人数の学校の限界をだんだん認識し始めてきている。

<宮澤教育長>

総務課長と話をした。川島区の振興について、町の動きが全く見えない。説明会でも区の活性化を話していた。この点は町全体で考えていかなければ。

(3) 令和3年度上伊那社会教育関係者懇談会について

・西原生涯学習課長より説明。

11月12日(金)に開催される。町民会館にてオンラインで参加。

教育委員の出欠の確認がなされた。

7 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

・宮澤教育長より職員の綱紀の保持について、学校運営について、令和3年度末の人事推進について協議したことを報告。

8 閉会